
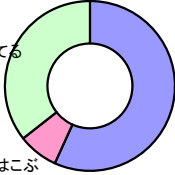


カーボンフットプリント 登録情報

1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-BF04-12001	1.7 製品写真 
1.2	製品名称 (日本語)	宮崎県産 トップバリュグリーンアイ ピーマン	
	製品名称 (英語)	TOPVALU GreenEye Green Pepper from Miyazaki	
1.3	製品型式	—	
1.4	製品の主要仕様・諸元	生産者を限定し、栽培した宮崎県産トップバリュグリーンアイ ピーマン (夏秋栽培) を小袋包装したものの。	
1.5	CFP算定単位	単位重量当たり (100 グラム当たり)	
1.6	公開日	2012年9月24日	

2. 事業者情報		
2.1	事業者名 (日本語)	イオン株式会社
	事業者名 (英語)	Aeon Co., Ltd.
2.2	電話番号	043-212-6037

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	0.33	「kg-CO2 (端数処理により、左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)」
3.2	内訳 (ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等)		
	原材料調達段階	0.018	kg-CO ₂ e (有効桁数2桁)
	生産段階	0.17	kg-CO ₂ e (有効桁数2桁)
	流通段階	0.025	kg-CO ₂ e (有効桁数2桁)
	使用・維持管理段階	0.11	kg-CO ₂ e (有効桁数2桁)
	廃棄・リサイクル段階	0.0046	kg-CO ₂ e (有効桁数2桁)
3.3	数値表示、追加情報の内容		
	数値表示	<記載内容>	<数値表示の単位>
		0.4kg	100gあたり (有効桁数1桁切り上げ)
追加情報の記載内容	<p>①栽培データ：2011年2月～11月。 ②販売単位 (1袋) 当たりのCO2排出総量は、0.43kgである。 ③CO2排出量には「調理」及び「冷蔵保存」による排出量を含む。</p> 		
3.4	備考	宮崎県産トップバリュグリーンアイ ピーマンは、農薬や化学肥料の使用を抑えて、環境に配慮し栽培した農産物です。データ収集及び算定はみやざきブランド推進本部 (宮崎県、JA宮崎経済連)、JAえびの市に協力をいただきました。	

4. CFP算定結果の解釈	
4.1	<p>CFP算定結果の解釈</p> <p>昨年度のCFPと比較して、「原材料調達段階」で、CO₂排出量が減少し、「生産段階」で増加。それ以外は、ほぼ、昨年と同様の結果となった。全体では、CO₂排出量への寄与度が大きい生産段階の増加が影響し、CO₂排出量が若干ではあるが、増加した。</p> <p>「原材料調達段階」と、「生産段階」のCO₂増減の主な要因は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「原材料調達段階」の施肥に関するCO₂排出 土壌診断に基いた施肥設計につとめたことにより、施肥量が減ったため、CO₂排出量が減った。 ●「生産段階」の燃料に関するCO₂排出 当該栽培地では11月中旬等に低温が続き、暖房を中心とした燃油の使用量が増えたため、CO₂排出量が増えた。これは他の栽培地での当製品素材固有の特徴を反映していない場合があります。そのため、この結果は概算値としてご理解ください

5. 算定条件			
5.1	認定CFP-PCR名称	【改訂版】野菜および果実	5.2 認定CFP-PCR番号 PA-BF-04
5.3	利用した二次データの考え方	カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム 基本データベースver. 1.01を優先して利用しつつ、利用可能データライブラリで補完した。	

6. 検証情報			
6.1	検証方式	システム認証方式	6.2 システム認証番号 CS-11001
6.3	検証番号	—	6.4 検証有効期限 2015年8月9日

7	備考	—
---	----	---

(※) 二次データについては、CFPウェブサイト下記ページ参照のこと。
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>